

平成 29 年度 指定管理者年度総合評価表

(平成 29 年 4 月～平成 30 年 3 月実施分)

作成日	平成 30 年 6 月 6 日
-----	-----------------

■指定管理者概要

施設名	八戸市水産科学館		
所在地	八戸市大字鮫町字下松苗場 14 番地 33		
施設概要	設置目的：八戸市の水産に関する資料等及び海の生態に関する資料等を展示すること、並びに その他水産に関する知識の普及及び向上を図る。 構造：鉄筋コンクリート一部鉄骨造 5 階建		
指定管理者	名称	企業組合かぶあがり	
	代表者	代表理事 吉井 仁美	
	所在地	八戸市大字是川字二ツ家 6-28	
指定期間	平成 26 年 4 月 1 日～平成 31 年 3 月 31 日		
指定管理者の業務	<ul style="list-style-type: none"> ・八戸市の水産、海の生態に関する資料等の企画、展示に関すること。 ・施設の使用許可に関すること。 ・施設整備等の維持管理に関すること。 		
市所管課 (問合せ先)	商工労働観光部 観光課 観光物産グループ		
	電話	0178-43-9252 (直通)	
	E-mail	kanko@city.hachinohe.aomori.jp	

■指定管理者による自己評価

評価	<p>〈展示関係〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・海洋研究開発機構（以下「JAMSTEC」）の地球深部探査船「ちきゅう」の研究成果などを紹介する『はちのへ「ちきゅう」情報館』の開館 10 周年を記念し、深海の様子や「ちきゅう」の活動をさらに詳しく知ることができ、子どもだけでなく大人も楽しめるよう情報館をリニューアルした。 ・青森県産業技術センター内水面研究所の協力による企画展「～森と川と海と～美しきふるさと青森県 内水面漁場管理への取り組み」や、南極観測船砕氷艦「しらせ」の日本南極観測 60 周年を記念し、海上自衛隊や南極観測隊の仕事、しらせの挑戦や取り組みについての写真や資料を展示した。 <p>〈附帯業務：マリエント「ちきゅう」たんけんクラブ活動〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・たんけんクラブ・シニアでは、最先端の海洋技術を持つ地球深部探査船「ちきゅう」への乗船見学及び研究者等からの実践的講義を体験し、JAMSTEC の取組や、船内ラボにおいて、マイクロ・プラスチックの比重による分別手法を学んだ。 ・JAMSTEC むつ研究所の訪問及び海洋研究船「みらい」の乗船見学、八戸市魚市場施設及び北日本造船豊洲工場の見学、巨大イカの解剖学習、南極観測船砕氷艦「しらせ」への乗船見学、サケの増殖事業と水産市場の学習、測量船「明洋」の乗船見学と海上保安部の役割などついて学習した。 ・八戸市主催の『はちのへ「ちきゅう」情報館開館 10 周年記念式典』にたんけんクラブのジュニア及びシニア会員が参加し、活動について報告し、活動を通じて、クラブ会員は、海に関わる多くの団体・機関の事業のほか、環境、地域への興味を深めることができた。 <p>〈情報発信の強化及び外部との連携企画〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・水産科学館で作成、配布する企画展ポスターやたんけんクラブ活動記録誌の表紙デザインを八戸工業大学第二高等学校美術コースの生徒の協力のもと作成した。 ・八食センターで開催された「八食わくわくフェスタ 2017」への出展し、市内小学校への
----	--

	<p>アンケートで人気がある海の生き物を展示した「卒業おめでとう展」の開催したほか、「海で働く若者たち」をテーマに、八戸水産高校の生徒が取り組んだ研究成果をパネル資料や映像で紹介した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・八戸工専と連携し、水槽を架台ごと容易に移動することのできる装置を作成した。 <p>〈施設・設備の更新〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・魚たちに直接触れることのできるタッチ水槽をサイズアップしリニューアルした。 ・食堂施設使用者を公募し、30年3月に「夕日絶景食堂イヌワラウ」をオープンした。 <p>〈協働のまちづくりに関わる取り組み〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域行事への職員派遣や、市内ほか多くの中学校の職場体験を積極的に受け入れた。 ・地域で開催された自主防災訓練に参加したほか、「第1回公民館主事研修会」や「第4回教育の広場はちのへ」に参加し、当館及びたんけんクラブの活動を紹介した。 <p>〈施設の利用状況〉</p> <p>以上の取組により、29年度の入館者数は69,242人（前年度63,709人）となり、5,533人の増、前年度比109%となった。</p>
今後の目標	<ul style="list-style-type: none"> ・3階の展示について、子どもだけでなく幅広い年齢層が興味・関心を持てる企画とする。 ・JPGU2018 大会への参加やエネルギー環境問題プレゼンテーションでの発表などの経験をマリエント「ちきゅう」たんけんクラブ全体で共有し、様々な機会であたんけんクラブの活動を情報発信していく。 ・養護学校等と連携し、インターンシップや職場体験学習を継続して受け入れ、卒業後の職業的自立を目指す生徒の支援や障がい者雇用を積極的に行っていく。 ・蕪島や八戸港を一望できる4階レストランを最大限に活かし、来館者が満足できるよう食と観光をテーマに積極的に施設の魅力を発信していく。 ・スタッフの質の向上を目指し、資格取得の支援を行う。 ・来場者の憩いの場、地域に愛され、交流の場として活用されるようPRしていく。

■市（所管課）の総合評価

評価	<ul style="list-style-type: none"> ・29年度もこれまでの指定管理期間で培われたノウハウを生かした各種企画や展示が実施された。 ・3階展示室では、『はちのへ「ちきゅう」情報館』開館10周年に伴い展示をリニューアルし、最新機器による魅力的な展示を体験することができるようになり、好評を博していた。 ・附帯業務である「ちきゅう」たんけんクラブの活動では、J各関係機関と連携した事業を実施しており、参加した生徒のレポートから非常に有意義な活動であると見てとれた。 ・自主事業では、地域の連携したマリエント市の開催、「夜のマリエント」による夜間開館、元日開館及びお振舞いを実施し、来館者数の増加と市民サービス向上に努めていた。 ・情報発信では、「マリエント通信」を毎月発行し市内外へ配布するほか、八食センターや地域の高校と連携したPR、各種イベントでの広報活動など、精力的に活動を行っていた。 ・施設の維持管理では、適切な管理がなされており、経費の削減にも努めていた。 ・年間入館者数は69,242人で、前年度と比べて5,533人増加しており、上記取組の成果であると評価でき、総合的に見て良好な管理運営が行われていたと評価できる。
指摘事項	<ul style="list-style-type: none"> ・食堂施設の適切な管理に努め、来館者のサービス向上につなげること。 ・来館者が楽しめる展示や企画を引き続き実施することで、入館者増加に努めること。

[評価：◎非常に良い、○良い、△やや悪い、×悪い、—評価不能]

■管理運営状況に係る個別評価

1 管理状況		
指標	評価	評価に対する説明
開館時間、休館日の運用	◎	業務基準書に示された内容と比べ、開館時間延長や休館日を臨時休館日だけにするなど、市民サービスの向上に努めていた。 ・開館時間は、夏期（6～8月）は午後6時まで延長した。 ・自主事業により季節ごと（年4回）に「夜のマリエント」を実施し、開館時間を通常より2時間延長した。 ・臨時休館日は、29年6月12日、9月11～13日、30年2月5～8日。（計8日）
法令の遵守	○	関係法令を遵守していると認められた。
適正な人員配置	○	業務基準書に示された配置基準の人員及び資格者を適正に配置していた。
従事者の労働環境確保	○	労働関係法令が遵守されていた。
障がい者の雇用状況 ※募集時に提案していた場合（選定時加点）	○	提案内容とは異なるが、職場体験・実習という形で受け入れを行った。雇用については、仕事の内容や仕事上の条件について、養護学校等と話し合いをしながら検討を行った。
協働のまちづくりへの協力 ※募集時に提案していた場合（選定時加点）	○	地域のイベントや学校等との連携に取り組み、提案内容と概ね同水準の地域貢献活動が行われていた。
従事者の教育・研修	○	従事者の教育や研修が適切に行われていた。
緊急事態への対応	○	事故、災害等の緊急事態への対応（準備）が十分できていた。緊急時の役割分担（マニュアル）が作成されていた。
文書の管理保存	○	文書取扱規程が整備され、作成、受領した文書が適切に管理されていた。
報告書等の提出	○	事業計画、月例報告書、事業報告書、その他報告等が適切に提出されていた。
利用料金の取扱い	○	利用料金の設定は適切で、各種媒体を使い確実に周知されていた。
利用料金の減免	○	市で示した基準どおりに適正に減免手続きが適切に行われていた。
口座管理、経理の区分	○	指定管理業務に関する収支は専門口座で管理し、経理区分も整理されていた。
通帳、印鑑の管理	○	通帳と印鑑の管理が適切であった。 ・通帳、印鑑をそれぞれ別の社員が管理していた。
管理物件に対する損害賠償、第三者への賠償	—	事例なし
指定管理開始前における準備	—	21年度から25年度まで及び26年度から30年度まで継続して指定管理者の指定を受けているので、対応なし。
管理終了後における引継ぎ	—	21年度から25年度まで及び26年度から30年度まで継続して指定管理者の指定を受けているので、引継ぎなし。

重要事項の変更の届出	—	届出の必要な事例なし
施設の使用許可及び条件	○	施設使用許可が施設設置条例に基づき適切に行われていた。 (使用制限、使用条件の変更、入場拒否はなかった。)
施設、設備の保守管理	○	施設、設備の保守管理（点検や修繕等）が適切に行われていた。
備品の管理	○	備品の管理（点検や修繕等）が適切に行われていた。
清掃業務、警備業務、 その他必要な管理業務	○	清掃業務、警備業務、その他必要な管理業務が適切に行われていた。

2 運営状況

指標	評価	評価に対する説明
施設利用状況	◎	利用者数は前年度実績及び当初の目標を大きく上回った。 ・平成 28 年度 目標入館者数 68,000 人 実績入館者数 63,709 人 ・平成 29 年度 目標入館者数 60,000 人 実績入館者数 69,242 人（対前年度比 109%、目標達成率 115%）
自主事業	○	各種自主事業を積極的に企画、実施することで入館者増につなげた。 ・売店事業、自動販売機設置事業 ・マリエント市の開催 ・水の生き物 特別体験事業 ・企画「夜のマリエント」の開催 ・お正月開館及び来場者への鶴子まんじゅうお振る舞い
その他の取組 (運営に関する工夫)	○	附帯業務である「ちきゅう」たんけんクラブの活動により、サービスの向上に効果があった。 ・平成 19 年度に会員 10 名でスタート ・JAMSTEC むつ研究所主催のちどり浜沿岸観察会に参加（29 年 6 月） ・JAMSTEC むつ研究所及び海洋地球研究船「みらい」一般公開に参加（29 年 7 月） ・JAMSTEC の専門家を招へいして海洋科学等に関する知識向上のための講義を開催（29 年 7・8 月） ・南極観測船砕氷艦しらせの乗船見学を開催（29 年 9 月） ・地球深部探査船ちきゅうの乗船見学を開催（29 年 9 月） ・「ちきゅう」たんけんクラブ発足 10 周年記念式典の開催（29 年 12 月） ・その他、八戸海上保安部測量船の見学や、イカに対する理解を深めるための「八戸イカの日大研究」開催、八戸市魚市場施設と北日本造船豊洲工場の見学等を実施。

3 収支状況

指標	評価	評価に対する説明																																																													
指定管理業務の収支状況	○	<p>利用料金収入は計画を下回ったが、支出経費の削減に努め黒字となった。</p> <p style="text-align: right;">(単位：円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>項目</th> <th>収支計画</th> <th>収支実績</th> <th>前年度実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="7">収入①</td> <td>利用料金</td> <td>14,364,000</td> <td>12,514,390</td> <td>11,401,080</td> </tr> <tr> <td>指定管理料</td> <td>43,920,000</td> <td>43,920,000</td> <td>44,239,000</td> </tr> <tr> <td>ちきゅうたんけんクラブの会費及び活動に係る実費</td> <td>140,000</td> <td>360,507</td> <td>343,929</td> </tr> <tr> <td>雑収入</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>修繕料繰越金</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>58,424,000</td> <td>56,794,897</td> <td>55,984,009</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">支出②</td> <td>人件費</td> <td>31,300,000</td> <td>25,649,767</td> <td>24,846,581</td> </tr> <tr> <td>維持管理経費</td> <td>19,944,000</td> <td>19,624,568</td> <td>19,555,391</td> </tr> <tr> <td>事業費・一般事務費</td> <td>4,100,000</td> <td>7,792,465</td> <td>5,691,391</td> </tr> <tr> <td>租税</td> <td>3,080,000</td> <td>2,837,436</td> <td>3,283,554</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>58,424,000</td> <td>55,904,236</td> <td>53,376,917</td> </tr> <tr> <td></td> <td>次年度修繕料繰越金③</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td></td> <td>収入－支出(①－②－③)</td> <td>0</td> <td>890,661</td> <td>2,607,092</td> </tr> </tbody> </table>		項目	収支計画	収支実績	前年度実績	収入①	利用料金	14,364,000	12,514,390	11,401,080	指定管理料	43,920,000	43,920,000	44,239,000	ちきゅうたんけんクラブの会費及び活動に係る実費	140,000	360,507	343,929	雑収入	—	—	—	修繕料繰越金	—	—	—	計	58,424,000	56,794,897	55,984,009	支出②	人件費	31,300,000	25,649,767	24,846,581	維持管理経費	19,944,000	19,624,568	19,555,391	事業費・一般事務費	4,100,000	7,792,465	5,691,391	租税	3,080,000	2,837,436	3,283,554	計	58,424,000	55,904,236	53,376,917		次年度修繕料繰越金③	—	—	—		収入－支出(①－②－③)	0	890,661	2,607,092
	項目	収支計画	収支実績	前年度実績																																																											
収入①	利用料金	14,364,000	12,514,390	11,401,080																																																											
	指定管理料	43,920,000	43,920,000	44,239,000																																																											
	ちきゅうたんけんクラブの会費及び活動に係る実費	140,000	360,507	343,929																																																											
	雑収入	—	—	—																																																											
	修繕料繰越金	—	—	—																																																											
	計	58,424,000	56,794,897	55,984,009																																																											
	支出②	人件費	31,300,000	25,649,767	24,846,581																																																										
維持管理経費		19,944,000	19,624,568	19,555,391																																																											
事業費・一般事務費		4,100,000	7,792,465	5,691,391																																																											
租税		3,080,000	2,837,436	3,283,554																																																											
計		58,424,000	55,904,236	53,376,917																																																											
	次年度修繕料繰越金③	—	—	—																																																											
	収入－支出(①－②－③)	0	890,661	2,607,092																																																											
自主事業の収支状況	○	<p>収支計画を概ね達成し、黒字であった。</p> <p>収入 5,060,486円 支出 3,124,056円 収支 1,936,430円</p>																																																													

4 運営に係る体制整備等の状況

指標	評価	評価に対する説明
利用者満足度の把握	○	利用者アンケート調査及びその結果を反映させる仕組みができていた。
施設概要(利用方法)の周知	○	施設概要や利用方法等をホームページやマリエント通信等で積極的に周知していた。
苦情・要望等の受付体制	○	苦情・要望等の受付体制を明示し、周知していた。 アンケート回収数 489枚
苦情・要望等への対応	○	苦情、要望等に対し、適切に対応していた。 28年度実績 20件(苦情11件、要望9件) 29年度実績 35件(苦情7件、要望28件)
個人情報の保護	○	個人情報等保護の規程が整備され、遵守されていた。(運用実績無し)
情報公開	○	情報公開の規程が整備され、遵守されていた。(運用実績無し)
秘密保持義務	○	秘密保持義務が守られ、適切に対応していた。
環境への配慮	○	環境に配慮した物品購入、省エネルギーへの取組み、リサイクル推進等が適切に行われていた。

■他の事業評価実施状況

1 セルフモニタリング	
	実施状況
自主点検状況	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者からの直接の意見や、館内に設置したアンケート箱による利用者の意見を参考に、業務の改善を随時実施した。 ・有識者や地元漁業者等を訪問し、意見やアドバイスを受け管理や運営に反映した。 ・施設及び設備の定期点検を行い、必要な修繕を随時実施した。

2 定期モニタリング	
	実施状況
定期報告状況	月例報告書が遅滞なく提出され、内容も適切であった。

3 随時モニタリング				
実地調査状況	実施回数	実施日	実施者	実施内容
	12回	4月11日	担当	寄贈品設置立会い
		5月1日	GL、担当	施設運営等に関する打合せ
		6月20日	GL、担当	施設運営等に関する打合せ
		8月24日	担当	修繕等に関する打合せ
		9月14日	GL、担当	施設運営等に関する打合せ
		9月16日	GL、担当	展示リニューアル立会い
		9月19日	GL、担当	修繕等に関する打合せ
		10月27日	GL、担当	施設運営等に関する打合せ
		11月29日	GL、担当	修繕等に関する打合せ
		2月22日	GL、担当	修繕等に関する打合せ
		3月3日	担当	施設運営等に関する打合せ
		3月9日	GL、担当	施設運営等に関する打合せ
実施結果				
<ul style="list-style-type: none"> ・施設運営等に関する打合せ、修繕等に関する打合せ等を行った。 ・新年度予算要求に関する打合せを行った。 				

※GL：グループリーダー